



県議会議員として送り出しています。皆様には、地域の様々な場で、私の活動を広くお支えいただいており、心から感謝申し上げます。

今号では、先日閉会した県議会2月定例会の審議結果について、昨年から本年にかけての活動成果、県関連事業の状況、最近の活動等と併せてご報告いたします。

村岡県政も2期目がいよいよスタートし、平成30年度当初予算案は、知事が自らの公約で掲げた、地域産業全体の底上げを図る「産業維新」、交流人口拡大や産品発信等で人やモノの流れを拡大する「大交流維新」、そして将来に希望を持つて暮らせる基盤を創る「生活維新」の実現に向け、本県の持つ潜在力を余すことなく引き出し伸ばしていくという、力強い決意が込められました、「3つの維新発進予算」として上程され、可決されました。

また、県議会においては、県内各市町・地域が目指すそれぞれの地方創生策を県からもしっかりと支えてもらつための提言を行う「地方創生加速化特別委員会」が設置されており、私も委員として、その具現化を着実に果たすべく、ふるさと長門からの提言を重ねているところです。

笠本俊也  
山口県議会議員

山口の未来づくり  
加速化に向けて!

長門地域でも平成30年度、センザキツチンのフルオーブンや、湯本温泉及び元乃隅稻成神社周辺の交流人口の受入環境整備、そしてラグビーワールドカップキャンプ地招致と合わせて進む長門岳山道路供用開始に向けた最終整備や岳山温泉IC（仮称）周辺の将来に向けた拠点づくりの検討など、小さなまちの積極的なチャレンジが、地域住民のご協力のもと、大きく前進しています。

こうしたチャレンジが、国や県との密接な連携のもと、そして何より住民の皆様が描かれている、それぞれのまちづくりへの思いとも一致して、さらに大きく加速出来るよう、また、知事の掲げる「3つの維新」が、山口県における暮らしや産業の実効ある未来づくりにつながっていくよう、引き続き、しっかりと汗をかいだまいります。

今後とも皆様の声を拝聴し、日々の議員活動に邁進してまいりますので、相変わることのないご指導ご鞭撻をよろしくお願い申し上げます。



## 農林水産委員長

県内各地の第一次産業の現場から寄せられるご意見、ご要望を県政に反映できるよう、関連事業の実態調査や新たな取り組みの提案書つくりなど、県議会や農林水産委員会等で様々な政策提案を行っています。

として活動中!

# 村岡県政2期目がスタート！ 山口県議会2月定例会からの報告



## 予算における核事業

### 【明治150年プロジェクト】

山口ゆめ博開催 4.7億円、市町と連携したイベント「幕末維新回廊」推進 1.3億円、観光キャンペーン「やまぐち幕末ISHIN祭」推進 1.7億円など

### ■産業維新

宇宙利用産業創出支援 4.2億円、水産業強化支援 1.9億円、園芸産地での新規就業者支援など産地拡大促進 1.7億円、県内就職・人材確保支援強化 6.9千万円など

### ■大交流維新

山口宇部空港国際化推進 6.2千万円、グローバルビジネス総合支援 3.3千万円、東京五輪などの世界大会を活用した地域活性化 1千万円、ロシア・クラスノダール地方との交流推進 0.9百万円など

### ■生活維新

二酸化炭素削減を加速させる「ぶちエコやまぐち推進」5.7億円、若手医師確保総合対策 2.8億円、被災者生活再建支援システム整備 1.5億円、子どもの虐待対策強化 6.5千万円、働き方改革サポート 2.9千万円、働く女性応援 2.4千万円、地域教育力日本一を目指す推進策 1.3億円、学校業務支援員の配置 2.4千万円、部活動応援 5.8千万円、流木灾害防止緊急対策 3.6千万円など

## 行財政改革について

改革期間（29～33年度）中の財源不足額見込み 1,292億円に対し、歳出構造改革や臨時・集中的な財源確保策、事業執行段階での経費節減などの着実な実行により、1,302億円の効果額を見込み、期間中不足額の解消には自粛が立っています。一方、基金残高の目標額 100億円に対しては、78億円を見込んでいます。県債残高（一般分）は 16年連続の減少を果たす見込みです。県議会は引き続き、県執行部に対しては、歳入水準に見合った歳出構造への転換など財政運営のあり方、並びに安定した財政構造の確立に向けた歳入確保策といった提言、国に対しては、安定的な地方交付税の確保を要望してまいります。



県の来年度当初予算は、5年後に収支均衡の財政構造を目指す行財政構造改革方針を踏まえ、6.730億円を計上。知事が掲げる「3つの維新」の着実な推進に向け、新規重点事業が明白押しだすが、一つ一つの施策が実効あるものとなるよう、今後とも地域と県とのつなぎ役として、様々な分野で施策を提言してまいります。

長門市から県への提言も、多くの分野で事業化されることとなりましたので、今号では、29～30年度における長門市関連の主な県事業をお知らせします。

（写真は昨年9月定例会一般質問登壇の様子）

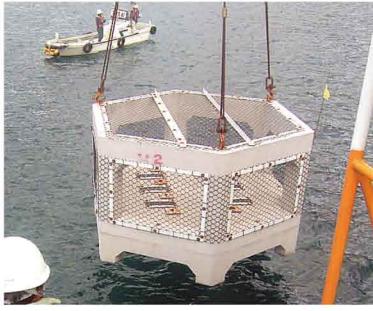
## 農林水産

### 農林水産資源豊かな長門の地から県を代表する取り組みの具現化を！

#### 長門海域の藻場回復を！

（29年2月一般質問：水産業の振興に向けた沿岸海域の資源回復）

H25の猛暑で磯焼けした地先での藻場回復に向け、長門4地先7力所に藻場礁整備を推進。今後とも、特に県においても主要な水揚げを誇る北浦海域の水産資源の回復のために、計画的な整備を訴え続けます。



#### 美しい景観の維持に向けて！

森林づくり県民税の「地域が育む豊かな森林づくり推進事業」を活用した、三隅憩いの森周辺の整備計画が、地元有志の方々により進展。市町で整備された森林の守り手がますます高齢化し減少する中で、地元多業種の方が声を掛け合い、意識を持って活動されて、まちの財産である美しい景観を守っています。



#### 鳥獣被害対策の強化を！

（29年2月一般質問：鳥獣被害対策）

防除と捕獲が一体となった一層の被害対策体制づくりを県も本格化。サル被害が続く油谷伊上地区・俵山黒川地区に大型捕獲柵が設置され、広域防護柵も渋木・真木地区、俵山地区で順次整備中。

## 環境

### 北長門海岸国定公園の環境整備を！

利用者が急増した津黄地区の龍宮の潮吹



園地の公衆便所の改修工事に向けての実施設計が進められ、30年度には自然公園関連事業として、水洗化・洋式化に向けた改修を実施。



#### 県を代表する温泉地再興を支援

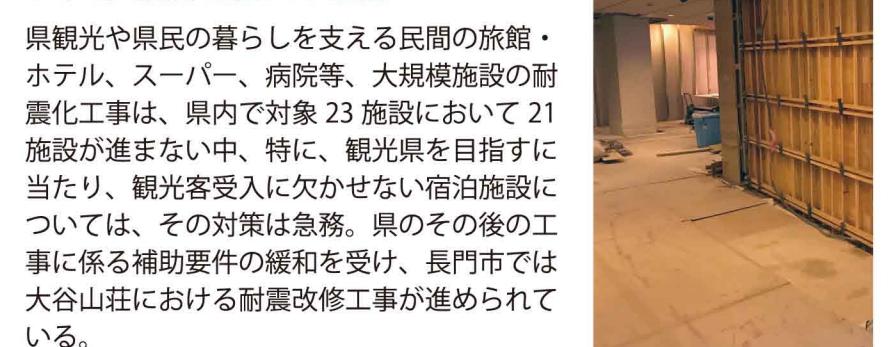
（29年2月一般質問：観光インフラの整備）

星野リゾート進出に伴う湯本温泉地区の整備が着々と進んでいるほか、新しい「恩湯」等施設整備・運営事業者に、地元旅館の若手後継者と飲食店経営者等で構成される「長門湯守」が決定。県を代表する温泉地の再興を全国のモデルにするよう、県は国に要望するとともに、音信川周辺の河川改修等で市を引き続き支援。

#### 観光施設の耐震改修促進を！

（29年2月一般質問：観光インフラの整備）

県観光や県民の暮らしを支える民間の旅館・ホテル、スーパー、病院等、大規模施設の耐震化工事は、県内で対象23施設において21施設が進まない中、特に、観光県を目指すに当たり、観光客受入に欠かせない宿泊施設については、その対策は急務。県のその後の工事に係る補助要件の緩和を受け、長門市では大谷山荘における耐震改修工事が進められている。



## 観光

### 長門地域観光客の受入基盤のさらなる充実を！

#### 観光地の駐車場、直売所整備

（29年2月一般質問：観光インフラの整備）



津黄地区元乃隅稻成神社には、昨年103万人の観光客が訪れ、県を代表するスポットに。将来に渡り、長門が誇る観光地化に向け、地元の共助を醸成し、各施設運営が自立出来る様、インフラはもとより、ヒトの体制づくりや条件整備を私も応援。

#### センザキッチンフルオープンに向けて



長門地域の観光受入拠点施設「道の駅センザキッチン」が、2018年4月に全面オープン。木育施設や観光・飲食施設に加え、交通面含め、あらゆる角度から交流人口増を支える機能・基盤づくりの構築へ。

## 土木建築

### 九州・東アジア経済圏と地元産業を結ぶ大動脈整備と長門の産業や暮らしに不可欠な社会インフラ対策を！



#### 山陰道の整備促進

（29年2月一般質問：山陰道の建設促進と周辺ネットワークの構築）

長門俵山道路が31年中の供用開始に向け前進中。また、一昨年度事業化した俵山・豊田間の俵山温泉IC（仮称）を中心とした、「小さな拠点」づくり構想が、2019年のワールドカップキャンプ地



受入れと同時に検討されています。山陰道建設に当たっては、県も事業費の3分の1を負担金し、長門地域を支援中。



#### 県道油谷港線整備

（27年11月一般質問：向津具半島地域の道路整備）

向津具半島の大浦地区と久津地区を結ぶ、県道油谷港線を拡幅中。大浦地区側から約400m区間をバイパスで整備後、JA向津具支所周辺までの狭隘箇所の2車線整備が進められています。

#### 県道美祢油谷線整備

（27年11月一般質問：県道美祢油谷線砂利ヶ峰地区的事業促進）

将来の山陰道に油谷方面から直結する、県道美祢油谷線砂利ヶ峰～俵山地区の整備が進み、30年度はトンネル工事に着手。地元企業もトンネル工事に携わり、32年度供用開始予定。これにより、油谷方面から俵山大羽山地区までが全線2車線となり、暮らしと産業を支える道路としての機能が高まります。



#### 県道青海島線整備

（27年11月一般質問：県道青海島線整備）

大日比峠、黒瀬峠は急カーブが多く、青海島地区的住民にとっては市内往来の難所となっており、青海島唯一の幹線道路の安心・安全確保のため、現在、大日比峠整備に向けた現地調査を実施中。

## 福祉

### 農山漁村の女性の活躍を！



#### 女性活躍

（27年11月一般質問：女性の活躍に関する取り組み）

市内9つの女性グループがそれぞれの特色を活かしつつ、販促による所得向上を目指して「食メニュー」を披露。こうした会をもっとオープンにして、地域の皆様にも親しんで利用していただけるよう、農産漁家レストランへの発展にも期待。道の駅等への女性グループの商品開発や暮らしの充実に向けて、第一次産業の現場で頑張る皆様の意欲づくりを応援します。



#### 中学校生活の充実に向けて

（27年9月一般質問：いじめ問題への対応について）

先般、いじめ事件が起こった市内中学校に教員の増員を要望・実現。いじめの被・加害生徒にしっかりと向き合い、積極的に学校の側から対応する体制づくりを求めます。存続・活性化に加え、顧問教員の負担軽減等も求められている部活動については、30年度県も大きく予算措置。今後、少子化進展により統廃合が余儀なくされる市内各校の部活動の在り方を、地域で考え、共有できるよう模索中。

### 高校生に実践的な職業教育を！ 大津緑洋高コミュニティ・スクール

（28年9月一般質問：コミュニティ・スクールの活動の充実）

地元大津緑洋高3キャンパスの生徒会が、深川養鶏・フジミツと連携した商品開発を続け、29年度は商品化を実現。こうした取り組みを通じ、故郷の企業からも出来るチャレンジを実践しながら学び、生徒個々の無限の感性を育むための職業教育を、高校版コミュニティ・スクールで実践。

